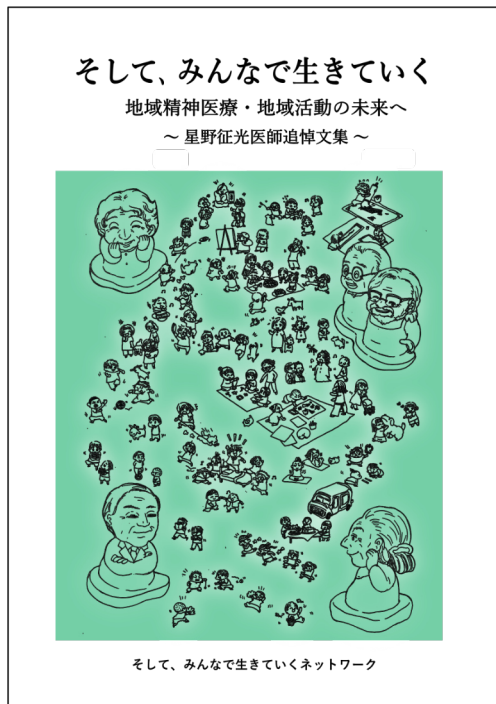


「俺は、患者さんと手をつないで 歩ける医者でいたいんだよ」

精神病院の鉄格子をぶっ壊した医療者達の50年



「どんな時も一緒に考えながらそばにいる」

その基本姿勢に共感するからこそ、短期間でこんなに多くの志ある仲間たちが集まってくれたのだと思う。安心していいと思う。みんな諦めていない。諦めなければ前進できる。今は少し方向が違っていても、やがて地域で出会い、連携し、共同し大きな流れとなり、人間が争わず、共に助け合って生きていく社会を作り、やがて「精神医療」が必要でなくなる社会が来るのではないか。(本書より抜粋)

そして、みんなで生きていく

地域精神医療・地域活動の未来へ

～星野征光医師追悼文集～

発行：そして、みんなで生きていくネットワーク

頒価：500円（税込・送料別）

そして、みんなで生きていくネットワーク 担当：吉本

〒569-1127 大阪府高槻市西真上1-28-18 (株式会社アットホーム内) 電話 072-668-1180

メール minnade@athomeweb.net FAX 072-681-1120

お申し込みはメールもしくはFAXにて以下の内容をお送り下さい。受付後メールにて送料等ご連絡致します。

【注文票】 そして、みんなで生きていく 地域精神医療・地域活動の未来へ～星野征光医師追悼文集～

購入者名			
送付先住所	〒		
電話番号			
メールアドレス			
冊数	冊	領収証	要 ・ 不要

本書の概要

本書は、2019年11月27日に大阪府高槻市にて開催された、地域精神医療のこれまでとこれからを語り合う講演・交流会「そして、みんなで生きていく」の講演録と、星野征光医師への関係者からの追悼文をまとめたものです。

星野先生は学生運動を経て、大阪の光愛病院にて精神病院の開放化、民主化を目指し活動し、地域で暮らす患者を支える場として星のクリニックを設立しました。

晩年までいつも患者に寄り添う姿勢を貫き2020年4月がん闘病の末、他界されました。その背中は今も多くの人々の心の支えとなっています。

精神病院で行なわれていた隔離・拘束は、今も一部の病院で続き、精神病院だけでなく認知症を患う老人医療の現場でも日々行なわれています。

人が人の自由を奪うことを、私たちはいつまで続けるのか。

星野先生の生き様が私たちに問いかけます。

目次

- 序章 私たちはどこまで来たのか
- 第1章 そして、みんなで生きていく 講演録
 - 1 病院民主化から地域医療へ
 - 2 地域実践の現場から
 - 3 地域精神医療のこれからの考える
 - 4 地域精神医療の未来に寄せて
- 第2章 星野先生へ
 - 1 患者さんから
 - 2 スタッフから
 - 3 地域精神医療を支えてきた同志から
 - 4 家族から

星野征光医師追悼文集制作に寄せて

講演録 パネリスト

ト部圭司氏

京都岩倉病院元院長。病院の開放化と地域精神医療を進める。2001年東京江東区にてハナクリニックを開業。

星野征光氏

光愛病院元院長。2001年大阪にて、星のクリニックを開業。重度認知症にも対応するデイ・ナイトケアを実施。

上野光歩氏

1992年京都にて、ウエノ診療所を開業。地域に根差す精神科医療の「統合的ケアシステム」を展開。

吉田守氏

2002年、大阪でアットホーム訪問看護ステーションを始める。京都府南丹市で農業+就労支援事業を行う。

そして、みんなで生きていくネットワークとは

「そして、みんなで生きていくネットワーク」とは、地域精神医療のこれまでとこれからを語り合う講演・交流会「そして、みんなで生きていく」に参加した有志の集まりです。

日本の精神医療には、障がい困っている人たちをコミュニティから排除し、隔離・拘束を中心とした暗黒の歴史があります。その中で、閉じ込められた病院から患者さんと共に地域へ出て、人間として対等な関係を大切にして、強制医療の現場から改革に立ち上がった医療者達がありました。

先輩方の思いを受け継ぎ、様々な差別と闘い、「対等で尊重し合う関係に基づいた地域共生社会」「抑圧からの自由と参加型民主主義を大切にする事業共同体」のネットワーク作りを目指しています。

この書籍を手に取り共感頂ける方は、ぜひ仲間になってください。

ブログ

athometakatsuki.wixsite.com/soshiteminiki

ツイッターID

@Soshite_Miniki

フェイスブック

www.facebook.com/soshiteminiki

メール

minnade@athomeweb.net